

# 大須賀一雄 武蔵野スケッチ物語

吉祥寺北町  
五丁目にて

no. 63

見慣れた風景も、絵になるとちょっと違う趣が出てきます。  
そんな武蔵野の風景を、大須賀一雄さんが春夏秋冬で切り取って描きます。



K.O

この絵は、市営プールの北側にある交番脇から、西を見て描いたもので、冬の割には暖かかったので、気分良く描けたと思う。

ところで、先日地下鉄の大江戸線を利した時、ふとりニア新幹線のことか頭に浮かんだ。それは、この地下鉄がリニアモーターで車両を走らせているからで、そのことから平成三十九年に東京〜名古屋での開業が予定されるリニア新幹線を連想した次第である。

実は、三十年以上も前に、私がかつて国鉄本社にいた頃、当時は宮崎にあったリニアモーターカーの実験線を、外国からの要人の通訳として何回か訪れたことがあった。その際、役得で何度か浮上式車両に試乗させてもらい、時速四百キロを体験し、すごく感動したことを覚えてる。それが、十年後にいよいよ実用化されるとは…。長生きして、ぜひ乗ってみたいと思っているのだが。

(絵と文…大須賀一雄)

## Profile

大須賀一雄  
(おおすか かずお)

水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』（日貿出版社）、『スケッチお手本帖』（素朴社）、『透明水彩の世界・ヨーロッパ』および『緑』（旅もようスケッチ会）ほか。現在、JR東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も30回を超える。